

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/☎38-5434

のる・とる・あそぶ - 芦屋の鉄道・JR線の巻 -

【関連企画】
講演会「阪神間鉄道のおゆみと芦屋」
■日時 1月30日(日)午後2時～3時30分
■会場 講義室 ■講師 奈良大学准教授・三木理史氏 ■定員 先着50人 ■申し込み 講演会名・住所・氏名・電話(ファクス)番号を明記し、ファクスで上記へ

小出 重を歩く - 1920年代 大阪・神戸・芦屋 -

【関連企画】
楳重ゆかりの地をめぐる街歩きツアー(神戸・芦屋コース)
■日時 2月10日(木)午前10時～午後3時
■行き先 JR三宮駅中央コンコース(10時集合) 海岸通・居留地・芦屋市内など
■定員 先着10人 ■参加費 500円(保険料含む)*昼食・交通費別 ■申し込み コース名・住所・氏名・電話(ファクス)番号を明記し、ファクスで上記へ

みんなで歌いましょう

■日時 1月21日(金)午後1時30分～3時 ■会場 講義室 ■指導 加藤純子 歌・沖倫子 ピアノ・I LOVE ASHIYA ■定員 先着50人 ■参加費 500円(観覧料含む)
*歌集『愛唱名歌 野ばら社』をお持ちでないかたは、歌集代1,000円が別途必要です。

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244

【文学館講座】作家 柳谷郁子が語る ～名作の愉(たの)しみ～

■日時 1月27日(木)午前10時30分～正午 ■会場 講義室 ■作品内容 柳田国男作「遠野物語」を取り上げます ■定員 16人 ■受講料 2,300円 ■申し込み 上記へ

ウィザスあしやの催し

問い合わせ 男女共同参画センター ☎38-2023/☎38-2175
☒josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp(〒659-0092 大原町2-6 ラ・モール芦屋2階)

【男女共同参画センター講座】自分も相手も大切にできるコミュニケーションカ

気が進まないのに断れない、つい攻撃口調になってしまう、コミュニケーションがうまくいかない...などを改善し、コミュニケーション力をアップする自己表現セミナー。
■日時 2月18日・25日・3月4日(金)午前10時～正午<全3回> ■会場 ウィザスあしや ■講師 アサーティブジャパン・谷水美香氏 ■定員 先着25人(託児あり) ■受講料 900円(3回分)

【市民企画講座】見方がかわる！認知症

認知症患者が、家族や周りの人々の接し方次第で、いかに豊かな感情を表せるのか、身体的・精神的能力を向上させることができるのかを学びます。
■日時 2月4日(金)午前10時～11時30分 ■会場 ウィザスあしや ■企画 につち倶楽部 ■講師 神戸大学大学院准教授・中村美穂氏 ■定員 先着30人(託児あり)

【市民企画講座】家族みんなの生活学校シリーズ②

子育て真最中のママ・パパに、衣類の整理などスッキリ生活のコツをお伝えします。
■日時 2月23日(水)午前10時～11時30分 ■会場 ウィザスあしや ■企画・講師 西宮友の会芦屋方面 ■定員 乳幼児・小学生を子育て中のかた・先着25人(託児あり)

共通事項

《託児》 2歳～就学前児・先着8人(1人1回300円)*各1週間前までに、要予約
《申し込み》 講座名・住所・氏名・電話(ファクス)番号、託児希望のかたは子どもの名前と年齢月齢を記入し、はがき・電話・ファクス・Eメールまたは窓口へ。
*各講座とも、定員になり次第締め切ります。

2010年版「芦屋市ガイドマップ」差し上げます



全市の市街図のほか、市章の由来、市の木・市の花の紹介、市内の主な施設・窓口案内、歴史や見て歩きマップなどを掲載しています。
1人に1部を、市役所北館1階行政情報コーナー、ラポルテ市民サービスコーナーで差し上げています。
※印刷部数に限りがありますので、複数部数が必要なかたは広報課へご相談ください。

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

船戸町地区地区計画(決定案)および三条南町地区地区計画(原案)を縦覧します

問い合わせ 都市計画課まちづくり担当 ☎38-2109

阪神間都市計画(芦屋国際文化住宅都市建設計画)地区計画の決定のうち、下記2件について縦覧します。

- 縦覧件名 都市計画船戸町地区地区計画 芦屋市決定 案
都市計画三条南町地区地区計画 芦屋市決定 原案
- 縦覧期間 1月17日～31日 平日・執務時間内
- 縦覧場所 都市計画課
- 意見書 縦覧期間中に船戸町地区地区計画(芦屋市決定)案について、住民および利害関係者は芦屋市に、三条南町地区地区計画(芦屋市決定)原案について、土地に関する利害関係者は芦屋市長宛に意見書を提出(上記の縦覧場所)することができます。

*意見書は、個人情報以外は都市計画審議会の資料として公表されます。



国民年金保険料の納付は口座振替が便利です

問い合わせ 西宮年金事務所 ☎0798-33-2941

国民年金保険料の納め忘れがあると、将来受けられる「老齢基礎年金」の年金額が少なくなったり、もしものときの「障害基礎年金」や「遺族基礎年金」が受けられなくなったりする場合があります。

口座振替にされると、保険料の納め忘れがなく、納めに行く手間や時間も省けます。また、毎月納付で翌月振替にされた場合、割引きはありませんが、前納1年前納または6カ月前納や毎月納付でも当月振替にすると割引きがあり、現金で納めるよりお得です。

希望されるかたは、預貯金通帳・その届け出印・年金手帳(または国民年金保険料納付案内書)を持って、金融機関・郵便局または年金事務所、2月中にお申し込みください。

1年前納または6カ月前納は、3月中に年金事務所でも処理する必要があります。

【参考】平成22年度の場合です。平成23年度は、変更となります。

振替・納付方法	振替日・納付日	割引き
① 毎月納付	翌月末日 例・4月分保険料は5月末日	口座振替も現金も、割引きはありません
② 毎月納付(早割)	当月末日 例・4月分保険料は4月末日	月50円の割引き(現金の場合、割引きはありません)
③ 1年前納	4月末日 (4月～翌年3月分保険料)	1年で3,800円の割引き
	4月末日 (4月～9月分保険料)	6カ月で1,030円の割引き
④ 6カ月前納	10月末日 (10月～翌年3月分保険料)	現金の場合740円の割引き

福祉センター エントランスコンサート Part6 音の宝石箱

～ 天空にきらめく星のように、
珠玉の逸品を七色の輝きにのせて～

- 日時 1月30日(日)午後2時30分～4時
- 会場 保健福祉センター1階(呉川町14-9)
- 出演 金澤佳代子(ピアノ独奏)
- 曲目 モーツァルト:「ロンド」二長調/
ドビュッシー:「アラベスク」1番・2番/
ショベルト:「即興曲」より/
ショパン:「子犬のワルツ」、「幻想即興曲」/
リスト:「愛の調べ」、「リゴレット」/バラフレーズ
- 入場 直接会場へ *車でのご来場は、ご遠慮ください。



金澤 佳代子

問い合わせ 福祉センター ☎31-0612

教育委員会からのお願い

私立等の小中学校へ入学するかたは「届け出」を

私立や国・県立小中学校へ入学する児童・生徒のかたは、事前の届け出が必要です。
入学許可証を持って、市役所北館4階の教育委員会管理課へ手続きにお越しください。

外国人で市立小中学校へ入学希望のかたは…

お子さんが外国籍で、市立小・中学校への入学(新1年生を含む)を希望されるかたは、事前の手続きが必要です。
おさんの外国人登録証明書と印鑑を持って、市役所北館4階の教育委員会管理課まで手続きにお越しください。

問い合わせ 教委管理課 ☎38-2085

■平成21年度実績の評価結果一覧

基本目標【総事業数】	評価	事業数	目標達成率	主な事業
家庭における子育てへの支援【112】	A	55	91%	児童手当、就労資格取得の援助(母子家庭)
	B	50(47)		子育て情報発信拠点の充実
	C	7		子育て広場、重度心身障害児介護手当
母と子どもの健康の確保と増進【51】	A	28	88%	妊婦相談・血液検査、予防接種
	B	19(17)		健康福祉フェアの開催、親子で楽しむお話し会
	C	4		安全教育、ファミリー・サポート・センター事業、スクールカウンセラー・保健室の活用
豊かな心・健やかな体を育む環境づくり【153】	A	70	82%	学校間交流、「子育てサポートブック」配布
	B	60(56)		幼児教育学級、中学生をリーダーとするボランティア等の活動
	C	23		
仕事と子育ての両立の推進【35】	A	19	89%	次世代育成支援対策推進行動計画の啓発・普及、延長保育事業、一時保育事業
	B	13(12)		民間保育所運営支援、就労支援の情報提供
	C	3		夜間保育、病児・病後児保育、休日・年末保育
親子が安心して快適に暮らせる環境の整備【18】	A	12	94%	不法駐輪等をなくす運動の推進、危機管理体制の強化
	B	6(5)		安全な公園づくり、チャイルドシート着用の普及・徹底
	C	0		
総合計	A	184	87%	
	B	148		
	C	13(7)		
	合計	369		
		(321)		

*目標達成率は、(A評価事業数+B評価・目標達成事業数)÷(総事業数)を表示しています。

【前期計画の検証・総括】《抜粋》

本市の次世代育成支援対策推進行動計画<前期>では、5つの基本目標、20施策、369事業で推進してきた。全体で87%、目標ごとではすべて80%を超えて目標達成しており、平成21年度も中間検証時の達成率を維持し、計画全体として推進できたと言える。

個別事業ごとでは、目標達成事業であっても、課題を抱えている事業も見受けられる。また、目標未達成事業において、市民参加型の事業では、開催の周知や参加への啓発などに努力するとともに、市民ニーズに対応できているか等、必要性を考慮し事業実施の見直しも含めた内容の検討が求められる。いずれも、事業それぞれが抱える課題解決に向けて、今後一層の取り組みが必要である。
今後は、達成率にかかわらず、さらなる「子育てしやすいまち芦屋」を目指し、市民ニーズに即して必要とされる事業や内容等を見極め、力点の置き方に考慮した事業への取り組みが望まれる。
*詳細は、市ホームページまたは市役所北館1階の行政情報コーナーでご覧いただけます。

「次世代育成支援対策推進行動計画」

問い合わせ こども課 ☎38-2045

市では平成十七年度からの五年間を前期とする少子化対策の行動計画を策定し、二十一年度目標の達成に向け、地域の関係団体や行政関係機関等で構成する、推進協議会を進めてきました。
今年度は、前期計画最終年度である二十一年度実施状況の評価の年にあたり、市民意識体代表者等、推進協議会による外

【全事業の評価結果】

- A評価 目標を達成したものの、事業内容や制度が拡大したものの、数値的な成果として伸びがあり前進があったと認められるもの。
- B評価 事業内容に変化がなかったが継続して行ったもの。過去から実施していた、状況が変わらないもの。
- C評価 目標が達成できなかったもの。事業内容や制度が後退したものの。



部評価を実施し、併せて前期計画全体の検証を行い総括としてまとめましたのでその概要をお知らせします。

■次世代育成支援対策推進行動計画とは…

次代の社会を担う子どもが健康やかに生まれ、育成される社会づくりに向け、市町村では行動計画の策定が義務付けられています。市では、平成12年度から進めていた「児童健全育成計画(エンゼルプラン)」を発展的に見直し、次世代育成支援として市が取り組む対策や達成目標を定めて行動計画を策定しました。この計画は、5年を1期として定めるものとされており、平成17年度から21年度までを前期計画の期間とし、後期計画は前期計画の必要な見直しを行った上で22年3月に策定しました。



四月から「預かり保育」を実施します

看護介護または園児の兄弟姉妹の授業参観懇談会出席する等、やむを得ない事由により緊急または一時的に預かり保育を希望するかた、その他、園長が必要と認めるかた
【実施期間】 五月上旬のお弁当開始日から翌年三月末まで
【四歳児】 四月一日から
【五歳児】 卒園日前日まで(平成二十三年度は、始業式の翌日から実施)

【保育時間】 通常保育日 午後四時三十分～五時
長期休業日 午前九時～午後四時三十分
実施しない日は次とあり、土曜日・日曜日・祝日・代休日、年末年始・始業式・終業式・修了式・園長が指定する日、昼食はお弁当を持参のこと(「保育料」)
通常保育日 日額四百円
長期休業日 日額八百円
*教材費および各自額十円別



4月から、上記幼稚園に転園・新入園を希望されるかたへ

【転園希望のかた】

■受け付け指定日 午後3時～4時
できるだけ1月25日(火)までの平日・午後3時～4時、または各園の指定日時に、それぞれの幼稚園へ申請してください。
・朝日ヶ丘幼稚園(☎22-4885)1月18日(火)
・小籠幼稚園(☎32-0278)1月20日(木)
・潮見幼稚園(☎34-0710)1月24日(月)

■申し込み方法
新入園児は、入園を申し込んだ園から、「入園願書」と健康診断票の返却を受け、転園先の幼稚園へ提出してください。
在園児は、通園中の幼稚園に退園届を提出し、転園先の幼稚園へ「入園願書」を提出してください。

【保育所等から新たに入園するかた】

■受け付け期間・申し込み方法
できるだけ1月25日(火)までの平日・午後3時～4時に、上記3園の入園ご希望の幼稚園へ、願書を提出してください。

幼稚園ってどんなところ?

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

幼稚園では、子どもたちが自分が感じたことを自分なりに表現できるように、豊かに感じることでできる環境を整え、環境を生かした教育の充実を図っています。その環境の一つとして、絵本の時間を大切にしています。毎日の本の読み聞かせ、幼稚園の本の貸し出し、地域の図書館や小学校などの交流、親子絵本の時間、地域の教育ボランティアのかたの読み聞かせなどを行っています。子どもたちは、絵本を読んで、また世界と出会います。
「子ども読書の街づくり」推進事業の一環として作られた「ブックワーム」が、本が大好きな子どもたちを育てています。お楽しみ読書の「おおきとび」の「おおきとび」の本を読む「子どもたちは、とんとんとん、お母さんですよ。開けておくれ」と言葉の繰り返しを楽しみます。また、オカリナに合わせた楽器や何となく助けようとするお母さんの愛情や本が他者を傷つけないことなどを、絵本を通して学びます。そして自分たちが思うオカリナや言葉、身体・言葉・音楽・絵画制作などのさまざまな方法で、友達と一緒に表現して遊ぶことを楽しみ、三学期の劇遊びにつながっていきます。
また、子どもたちは身近な人のかかりを通して、自分の気持ちを言葉で伝えようとして、うまく伝わらないうつたりする経験や積み重ね、教師が支えていくことで、お互いに言葉を通して分かち合ったり、喜びや楽しさを味わうようになり、言葉は人の心や自分を育てていきます。これからも、確かな学力、豊かな心の育成の基礎となる読書活動を大切にしていきます。

